

サッカーの記事量はスポーツ紙トップ。金子・馳両氏の“本音”2大コラムも好評。

国際試合の注目度から、日本代表や、世界で活躍する日本人選手中心に取り上げています。スポーツ紙の中でJリーグを含めたサッカーの記事量が一番多く、試合結果、移籍情報、totoと、ファン拡大に大きく貢献しています。野球面と同様、スポニチがこだわっているのが、「人間」。記事の力点を「誰が(どうした)」に置いて、活躍度、移籍話など、国内・海外を問わず常に人の動きに注目しています。もうひとつの売り物は、金子達仁、馳星周両氏の2大コラム。サッカーを愛するが故の、遠慮のない本音の筆致が楽しみという反響が多く寄せられています。



アディダス ジャパン株式会社
2002年10月16日付



ミズノ株式会社
2002年6月15日付



株式会社キューンレコード
2003年3月21日付



びあ株式会社
2003年3月21日付

サッカーファンが待ち焦がれていたJリーグ開幕日。そのファンへの訴求を考えた場合、掲載のタイミングはこの日しかないと考えました。スポニチ独自のインパクトある見開き記事は、注目率も高いので、その広告効果を狙いました。

(毎日新聞社 出版局宣伝部)

毎日新聞社
2003年3月21日付

キリンビール株式会社
2002年6月10日付



サッカー

担当記者のメッセージ

スポーツ部
福永 稔彦



02年ワールドカップ後、一段と日本全国の皆様が関心を寄せている日本サッカー。さらに多くの方々に親しみを持っていただけるよう、専門用語などは分かりやすい表現で、そして選手たちの生の声を掲載していきたいと思えます。スポニチは日本代表チームやサッカー協会の動向を、ダイレクトにお伝えしていきます。

サッカー

担当記者のメッセージ

スポーツ部
須田 珠未



中田に中村、さらにはベッカムまで... 日本でのサッカーに対するニーズは高まるばかりです。1つのボールをめくって繰り広げられる戦いに対する熱い気持ち。それは取材するこちらも同じ。欧州で活躍する日本人プレーヤー、そして世界を目指すJリーガーたちの戦いぶりを、より心を込めて、よりリアルにお伝えてできればと思っています。

W杯メンバー落選という苦悩を乗り越え、海外で自らの力を証明してくれた中村選手。そんな彼の前向きな姿勢をたたえ、日本代表に復帰した事を喜び、アディダスがサポートしているという事実を伝えるために、ヴィジュアルに実際のスポニチ紙面を使って企画したものです。

(アディダス ジャパン株式会社)

W杯期間中、予選突破のタイミングでの出稿でした。日本代表に選ばれたミズノ契約選手の名前を登場させ、決勝トーナメントへの気持ちをお知らせすることで、サポーターにより共感を持ってもらえる原稿を目指しました。

(ミズノ株式会社 広報宣伝部)

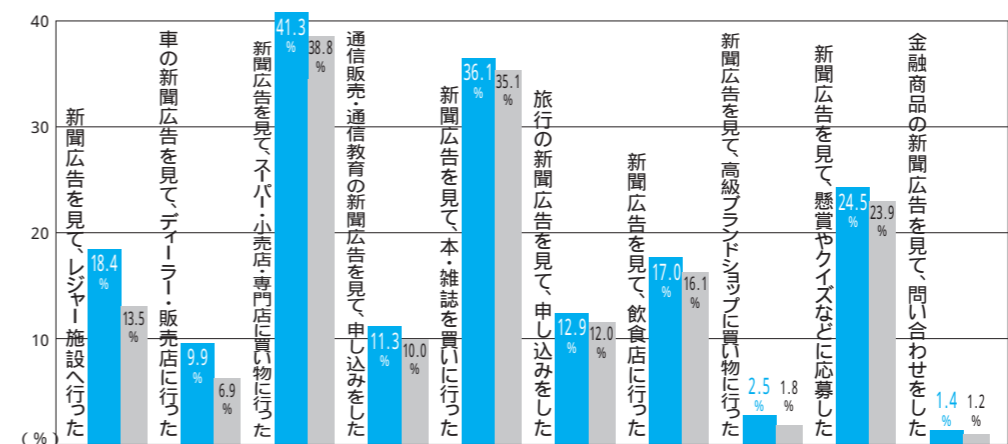
株式会社WOWOW
2003年2月28日付



スポニチの目の肥えたサッカーフリークの皆さんに、移籍した高原選手の熱いプレーや「ブンデスリーガ」での世界レベルの闘いを独占放送でご覧いただけることをお知らせしました。タイムリーな記事内容との相乗効果による良い広告事例と考えています。

(株式会社WOWOW プロモーション局 宣伝部)

【新聞広告接触後の行動】



広告効果抜群の
スポニチ読者

読者は新聞広告にも敏感です。バーゲン情報や本・雑誌広告を見て実際に買い物したり、本を買いに行ったりと広告主にはうれしい読者です。また、懸賞やクイズなどに応募する人も多く、キャンペーンには欠かせないターゲットです。